

令和6年度社会福祉法人静香会事業報告

○静香会

1. 外部・内部の課題に対する取組結果

(1) 外部の課題

①社会の変化への財務対応

- ・福祉ニーズの多様化、物価や賃金の上昇などに対応するため、定期的に経営会議を開催し、法人及び各施設の財務状況を適切に把握し効率的な運営を図った。
- ・物価や賃金の上昇が続く中、障害報酬改定による加算等を確実に取得し、職員の処遇改善を実施した。

②地域共生社会への貢献

- ・地域の福祉課題やニーズに対し、専門性を活かした支援を行った。
- ・長泉町より委託された「障害者のための基幹相談支援センター業務」を継続し、地域における相談支援の中核としての役割を果たした。

(2) 内部の課題

① サービスの質の向上

- ・利用者や保護者の声を反映し、サービスの質と満足度の向上に取り組んだ。
- ・ISO9001を継承した『静香会サービス品質マニュアル』を7月に制定し、サービス品質の継続的な改善を目的とした基本ルールを定めた。
- ・ICTを導入し、業務の効率化・省力化を図り、支援や保育に注力できる体制を整備した。
- ・虐待防止体制を強化し、支援・保育の内容を定期的に検証した。
- ・能登半島地震における障害者施設の避難時および被災後の生活状況を参考に、今後の災害や感染症に備えた事業継続計画（BCP）の整備に取り組んだ。

② 人材の確保と育成

- ・SNSによる情報発信やホームページのリニューアルを通じて、法人施設の取り組みや福祉の魅力を発信し、採用活動の強化と人材確保に繋げた。
- ・新卒者・転職者に加え、子育て世代や高齢者、障害者など多様な人材が働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。
- ・法人の理念・方針を共有し、職員の育成に努めた。
- ・次世代を担う人材の育成を目的にキャリアパス規程・基準書の見直しを行い、教育体制の整備を進めた。

2. 令和6年度の目標に対する取組結果

(1) 支援・保育に関すること

- ・全施設共通の目的として、サービスの質・満足度の向上、虐待防止に向けた取組の強化、サービスの自己点検と継続的な改善を掲げ、各施設がこの方針に基づいた取り組みを進めた。

(2) 人材に関すること

①職員の教育・育成

- ・人事評価制度の内容について全職員に説明を重ねるとともに、職員一人ひとりの個人目標達成に向けての助言や指導を行った。
- ・外部研修には、多くの職員が受講できるよう努めた。
- ・法人内研修を充実させ職員の資質向上に努めた。

【研修】

施設名	外部研修		法人内・施設内研修
	講座数	延べ人数	講座数
悠雲寮	68件	116名	21件
悠雲の家 アネックス悠雲の家	5件	5名	10件
ゆううん	22件	36名	35件
ほほえみ& みのり工房	8件	15名	17件
このはな保育園	33件	39名	6件
ススミダス	10件	14名	12件
本部	10件	10名	8件
合計	156件	235名	109件

※主な研修内容

外部研修

感染症対策、事業者説明会、運営管理、会計経理、BCP、第三者評価、権利擁護、防災・災害対策、就労支援、精神保健業務、サービス管理責任者、相談支援従事者ICT、組織づくり、発達障害、虐待防止、強度行動障害、人材育成・定着、接遇マナー、コミュニケーション

食品衛生、医療児等支援、高次脳機能障害、食育推進、
 保育士キャリアアップ、静岡県保育連合会・全国私立保育連盟・
 日本保育協会の研修等

法人内施設内研修

外部研修報告、感染症、防災対策、虐待予防、権利擁護、
 AED、嘔吐物対応、利用者支援、身体拘束等の適正化、
 食中毒、評価者・被評価者、規程類の変更、成年後見制度
 連携のあり方、保育の質向上、不適切保育、人材育成、
 ハラスメント、安全管理 等

②定着の促進

- ・職員の定着を図るため、働きやすく意見を伝えやすい職場環境づくりや、業務負担の適正化、休暇取得の推進に取り組んだ。

【職員の採用及び退職】

(令和6.4.1～令和7.3.31)

施設名	採用		退職	
	正規	非正規	正規	非正規
悠雲寮	2	7	1	5
ゆううん	0	1	0	0
悠雲の家・アネックス悠雲の家	0	0	0	0
ほほえみ&みのり工房	0	3	0	2
このはな保育園	1	1	0	2
ススミダス	1	4	0	2
法人本部	0	0	0	0
合計	4	16	1	11
	20		12	

【職員人数】

施設名	令和5年3月31日	令和6年3月31日	令和7年3月31日
悠雲寮	36	35	35
ゆううん	7	6	7
悠雲の家・アネック	2	2	2
ほほえみ&みのり工	15	11	14
このはな保育園	29	22	22
ススミダス		12	13
法人本部	5	2	2
合計	94	90	95

【時間外勤務実績時間数】（令和 6. 4. 1～令和 7. 3. 31）

施設名	職員数 (月平均) 管理職除く	令和6年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間数	主な理由
悠雲寮	36.10	306.80	25.60	0.71	利用者対応 感染症対応 事務業務
悠雲の家 アネックス悠雲の家	2.00	18.00	1.50	0.75	業務補助・利用者対応 感染症対応
ゆううん	7.00	265.00	22.00	3.15	協議会・研修会準備 利用者対応・計画作成
ほほえみ& みのり工房	11.72	67.66	5.64	0.48	新年度準備・イベント準備 利用者対応・会議出席
このはな保育園	20.75	305.30	25.45	1.23	土曜保育・保護者対応 書類作成
ススミダス	12.16	988.35	82.36	6.76	活動準備・活動記録作成 支援計画作成

【有給休暇取得率】

施設名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
悠雲寮	85.42%	67.80%	81.04%
悠雲の家・ アネックス悠雲の家	92.13%	89.58%	58.90%
ゆううん	90.70%	70.20%	77.50%
ほほえみ& みのり工房	83.52%	56.45%	58.70%
このはな保育園	86.66%	64.73%	37.00%
ススミダス		84.57%	84.04%
本部	108.13%	104.69%	80.6%

※ 厚生労働省「年次有給休暇の計算方法」より

$$\text{取得率} = \frac{\text{当年の取得日数（前年繰り越し分を含む）}}{\text{当年の付与日数}}$$

(3) 地域に関する事

地域における公益的な取り組みの強化

【地域における公益的な取組】

- ①地域の要支援者に対する相談支援
- ②地域の要支援者に対する配食見守り移動等の生活支援
- ③地域の要支援者に対する権利擁護支援
- ④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- ⑤既存事業の利用料の減額・免除
- ⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- ⑦地域住人に対する福祉教育
- ⑧地域の関係者とのネットワークづくり
- ⑨その他

施設名	地域における公益的な取り組み実施件数									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
悠雲寮	0	0	4	0	0	0	9	13	1	27
悠雲の家・アネックス悠雲の家	0	0	0	0	0	0	0	3	12	15
ゆううん	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ほほえみ&みのり工房	1	1	1	0	0	0	12	6	0	21
このはな保育園	0	0	0	0	0	0	0	6	16	22
ススミダス	2	0	0	0	0	0	0	8	14	24
合計	8	1	5	0	0	0	21	36	43	114

(4) 経営管理に関すること

- ①毎月の経営会議で、各施設・事業の事業実績を確認・分析し、法人全体の財務状況を共有。課題に対しては速やかに改善策を講じ、計画的かつ効率的な事業運営に努めた。また、昨年度に引き続き、各施設において光熱水費や日用品等の管理・節約に取り組むとともに、委託業務・リース契約の内容を精査・見直し、経費節減を図った。
- ②障害者施設のケース記録システムをクラウドサービスに切替えた。クラウド型人事評価システム導入のための準備を進めた。

3. 定例事業

(1) 理事会の開催

① 第1回 令和6年5月29日(水)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

審議事項

第1号議案 令和5年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 令和5年度社会福祉法人静香会各会計決算報告及び
監事監査報告

第3号議案 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画

第4号議案 令和6年度社会福祉法人静香会各会計第1次補正予算

第5号議案 社会福祉法人静香会規程類の一部改正について

第6号議案 評議員会の招集について

② 第2回 令和6年9月3日(火) 決議の省略

提案事項1 社会福祉法人静香会福祉充実計画

提案事項2 評議員会の招集

③ 第3回 令和6年11月19日(火)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

審議事項

第1号議案 各種契約の締結

第2号議案 令和6年度社会福祉法人静香会各会計第2次補正予算

第3号議案 県による指導監査の実施結果

④ 第4回 令和7年3月19日(水)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

審議事項

第1号議案 令和6年度社会福祉法人静香会各会計第3次補正予算

第2号議案 社会福祉法人静香会規程類の一部改正

第3号議案 令和7年度社会福祉法人静香会事業計画

第4号議案 令和7年度社会福祉法人静香会各会計収支予算

第5号議案 悠雲寮給食業務委託入札指名業者の選定基準

第6号議案 悠雲寮給食業務委託入札指名業者の選定

第7号議案 悠雲寮給食業務委託入札立会い者の選任

第8号議案 各種契約の締結

第9号議案 評議員選任解任委員会の招集

第10号議案 評議員候補の推薦

第11号議案 県による運営指導の実施結果

(2) 評議員会の開催

①第1回 令和6年6月18日(火)

報告事項

第1号報告 令和5年度社会福祉法人静香会事業報告

審議事項

第1号議案 令和5年度社会福祉法人静香会各会計決算報告
及び監事監査報告

第2号議案 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画

②第2回 令和6年9月17日(火) 決議の省略

提案事項1 社会福祉法人静香会社会福祉充実計画

(3) 監事監査

① 中間会計監査

令和6年11月19日(火) 悠雲寮応接室

令和7年3月19日(水) 悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

② 令和6年度事業及び収支決算監査

令和7年5月22日(金) 悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会

① 令和7年3月14日(金)

(5) 県・町による指導監査

① 令和6年8月21日(水)

このはな保育園 私营保育所等指導監査

助言指導事項 1件

② 令和6年12月3日(火)

ススミダス 障害福祉サービス事業者等運営指導

改善指導事項 2件

③ 令和7年2月27日(木)

このはな保育園 長泉町指導監査等(実地指導)

改善指導事項 1件

(6) IS09001

令和6年7月6日を以てIS09001の承認を解約。ISOサービス品質マニュアルを静香会サービス品質マニュアルに移行した。

(7) 職員の健康管理

① ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施

した。(9月)

- ② インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。(11月)
- ③ 定期健康診断を実施した。(夜勤のある職員は年2回、その他職員は年1回)

(8) 内部・外部コミュニケーション

【内部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①管理職会議	月1回	4/22、5/21、6/20、7/23、9/13、10/23、11/25、1/20、2/19、3/24	10回
②経営会議	月1回	5/20、7/22、9/24、10/28、1/17、3/4	6回
③業務日誌	開所日	①の報告、人事関係、HP更新、防災関係、職員親睦会、労務関係、インフルエンザ情報、新型コロナウイルス情報、不審者情報等	随時

【外部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①行政機関との話し合い	随時	4/16、6/13、8/5、10/7	4回
②社会保険労務士による指導・相談	月1回	4/11、5/9、6/13、7/11、8/8、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/13、3/13	12回

(9) 外部への情報発信

- ① SNS、特にインスタグラムやフェイスブックを活用し、随時情報を更新し、各施設の最新情報や取り組みを積極的に発信した。
- ② 法人の情報発信力強化を目的に、静香会ホームページの刷新に向けた準備を進め、令和7年3月に新たなデザイン・構成で公開した。

○悠雲寮

1. 目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 利用者の自治会活動『しゃくなげの会』にて、利用者から多くの要望や意見が出るように配慮する。また、食や外出に興味を持つ利用者が多い事から、利用者の要望を利用者に分かりやすく反映し、気分転換やリフレッシュの環境を作る。
 - ・2ヶ月に1回利用者の自治会を開催、開催ごとに職員から利用者に経過報告した。
 - ・自治会では毎月1回の喫茶の日のメニューを決めたり、外出や活動内容に対する要望を聞き、可能な限り取り入れた。
 - ・外出に関しては、シャボテン公園、蟹甲羅本店での食事、沼津港で深海水族館や遊覧船を満喫、富士花鳥園、山梨県の道の駅散策、サントムーン柿田川でボーリング大会、ぶどう狩り、芦ノ湖散策、時之栖イルミネーション散策やバイキングなど、季節を楽しんだり、要望を取り入れた外出を実施した。
- ② 虐待のない安全な場所で安心して生活していただくために、虐待防止・身体拘束適正化委員会、虐待防止会議、各棟の会議を有効なものにするほか、研修を重ね虐待防止に努める。また、利用者の意思決定の支援に配慮できるようにするための体制を整える。
 - ・毎月、法人内障害者施設間で障害者虐待防止委員会を実施し、各事業所の報告、情報共有、課題検討などを行った。
 - ・毎月、悠雲寮内の各棟で虐待防止会議を実施し、虐待防止委員会の報告、不安や困っている事などについて意見交換したほか、研修を実施した。
 - ・事業所内での虐待や身体拘束はなかったが、不適切な支援が1件あり、すぐに事業所内でアンケートによる調査や会議を開き、改善を図った。
- ③ 感染症に感染しないために、体力活動や機能維持のための活動を継続すると同時に、基本的な感染症対策への取り組みを継続する。

利用者の高齢化や体調の変化に応じた支援を提供するために、記録を整備し、会議の場で検討を重ね、自己点検を実施し利用者の支援に反映させる。

 - ・外での体力活動として、敷地内外の散歩、近隣公園での散歩や活動、敷地内の外での活動を多く取り入れた。職員数が少ない日でも外での活動を行えるよう毎月の会議でも話し合いを続け、実施に繋がった。
 - ・日々の様子観察、情報の共有、正しい伝達と理解のために、支援課、栄養士、医務での連携を大切にし、会議を重ねたり、必要な情報を発信するなどした。
 - ・記録の入力については、必要な情報を効率よく入力できるよう見直しを続け、改善に繋がっている。

④ 利用者支援の質の向上及び緊急時の対応強化

- ・無線機を 14 台導入しました。これにより、施設内での職員間の情報共有が迅速になり、利用者支援の質の向上につながりました。
- また、無線機は半径約 4km 圏内での通話が可能なため、グラウンドでの活動や近隣への外出支援時にも活用でき、緊急時の対応がより迅速に行えるようになりました。これにより、利用者の怪我や事故を未然に防ぐことが可能となりました。
- さらに、災害時にも活用できるよう、防災訓練時に無線機を使用した訓練を実施しました。

(2) 人材に関すること

- ① 新人職員や経験年数が少ない職員が不安なく業務が行えるように、担当職員を配置し教育していく。

- ・担当職員を配置し、配置職員が不在の日でも該当職員が困らないように、教育状況がわかるチェック表を掲示し活用した。
- ・達成目標に対して達成時期が遅れないよう、月 1 回は会議で状況報告し、所属先での共有を図った。
- ・状況によって上司によって指示やアドバイスを受けた。

- ② ルールやマニュアルに沿った業務を行うために、定期的に業務の振り返りを行い、必要に応じて見直しを行う。

- ・月 1 回は会議で改善点などを出し、見直しや試行を進めた。
- ・随時または年 1 回、ルールやマニュアルを見直し最新のものにした。

- ③ 外部研修や内部研修の受講、経験年数、立場、役職など、それぞれに合ったスキルを身につけていく事で、全体のレベルアップに繋げる。

・主な外部研修

資格取得や更新に関する研修、事業者説明会、ICT関連、強度行動障害、人材育成や人材定着、評価者や被評価者研修、接遇関係、教育関係、虐待関係、災害関係、食品衛生、経理関係など、68 件の研修を受講した。

・主な内部研修

虐待関係、感染症関係、評価者と被評価者関係、規程やマニュアルについてなど、21 件の研修を実施した。

(3) 地域に関すること

- ① 見学、実習、体験、ボランティアなど、多く受け入れ、またイベント参加、外出など、積極的に行って地域と交流し公益的な取り組みをはかる。

【学生実習】

4/15～4/26	知徳高等学校	3年生	2名
6/10～6/14	知徳高等学校	1年生	3名
7/22	知徳高等学校	1年生	1名
7/24～7/26	知徳高等学校	1年生	2名
8/19～8/28・9/3～9/4	常葉大学保育学部	3年生	1名
9/9～9/13	知徳高等学校	2年生	2名
9/17～9/20	知徳高等学校	1年生	3名
10/11～10/25	沼津情報ビジネス専門学校	3年生	2名
10/28～11/8	知徳高等学校	1年生	3名

【体験】

6/19～6/21	御殿場特別支援学校	3年生	1名
10/2～10/8	御殿場特別支援学校	3年生	1名
10/23～10/25	沼津特別支援学校	2年生	1名

【ボランティア】

業務内容	回数	延べ人数	備考
理容	12	37	沼津市内理容師有志
美容	6	18	Hair cut KAZO
サマーショートボランティア	1	5	8/5～8/8
不二聖心女子学院			当日悪天候で中止
計	19	60	

- ② 非常災害対策及び感染症対策を強化する為に事業継続計画に沿った訓練を行い、会議で見直しを実施するとともに、地域との連携を検討する。

- ・2ヶ月に1回、法人内の障害者施設間で防災委員会を実施、毎月1回、法人内の障害者施設間で感染症対策委員会を実施。障害者事業所全体の課題確認、各事業所の課題解決に向けた話し合い、情報共有、内部研修の実施状況の確認、事業継続計画の見直しを進めた。
- ・事業所内では、毎月、防災会議と感染症対策会議を実施した。

【実施した防災訓練】

4月	新人教育・災害用伝言ダイヤル 171・スラック送受信・火災想定防災訓練
5月	災害用伝言ダイヤル 171・スラック送受信
6月	地震想定防災訓練・災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信 消火放水訓練
7月	起震車体験・火災想定防災訓練・災害用伝言ダイヤル 171・スラック送受信
8月	AED講習・災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信
9月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・地震想定防災訓練 防災倉庫確認
10月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・障害者施設総合防災訓練(事業継続 計画)
11月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・火災想定防災訓練
12月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・投光器訓練
1月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・火災想定防災訓練
2月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信
3月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・防災倉庫確認

③ 地域連携推進会議の開催義務化に向けて、情報収集や分析を行い、形を作る。

- ・10月に近隣の5法人が集まり、情報共有や勉強会を開催した際に情報を確認し合ったが、義務化に向けた詳細が不明な点が多く、形作りまでには至らなかった。
- ・発表されている情報から、事業所内で形に見通しをつける段階まで行なった。

(4) 経営に関すること

① 光熱水費の無駄を省くため、状況確認、見直し、以前との比較を続ける。

- ・毎月開催した会議で、前年度と今年度の光熱水費を比較した。エアコンや床暖房の使用状況を確認した。
- ・電気代削減の為、建物内の蛍光灯が破損した都度LEDに交換の工事をした。令和7年度には施設内の蛍光灯すべてをLEDに交換する事に決め、実施に向けて業者に見積依頼し、工事日程を調整した。

② 施設の収支状況等を定期的に確認・共有し、令和6年度障害福祉サービス報酬改定について、報酬体系や加算等の要件を確認し、安定した経営を目指す。

- ・報酬改定に関する研修会参加、近隣の法人が集まり情報交換、必要な加算変更などは随時、県に変更届を提出し、間違いや漏れがないようにした。

③ ブログやSNS発信を強化して、内部の活動や情報を多くの方に伝え、短期入所事業や日中一時を多くの方に利用していただき収入アップを図る。

- ・SNSは平日毎日更新する事を目標に、若い職員の発想を取り入れ実施した。
- ・3月中旬に、法人ホームページが新しくなり、さらに充実を図っている。

④ 利用率アップ

開所日・利用人数

(ア) 施設入所

- ・定員 50 名に対して、男性 29 名、女性 23 名が利用。
- ・新規利用者 1 名、退所利用者 1 名。

(イ) 生活介護

- ・開所日数は月の日数マイナス 8 日を開所予定とした。
- ・3 月に通所でコロナウイルスに多数感染があり、1 日だけ閉所した。

【生活介護利用者延べ人数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R5 年度	1364	1452	1387	1454	1450	1414	1473	1436	1496	1498	1366	1519	17579
R6 年度	1431	1498	1431	1482	1496	1432	1496	1483	1496	1499	1301	1130	17125

短期入所事業・日中一時支援

(ア) 短期入所事業：定員 6 名

- ・男性女性とも長期間利用している方がいたが、男性利用者は他事業所への移行が決まった事で人数は減少している。女性利用者は本人の体調面や家庭の状況により利用中。
- ・入所利用者が感染症に感染した時期は、新たな感染を防ぐために受け入れを中止した時期があった。
- ・新規利用者や継続して利用される方がいる事で、受け入れ状況は安定していた。

(イ) 日中一時支援：定員なし

- ・契約市町は長泉町、裾野市、三島市、御殿場市。
- ・入所利用者が感染症に感染した時期は、新たな感染を防ぐために受け入れを中止した時期があった。
- ・新規契約はあったが、生活介護時間拡大の関係で、今まで利用していた通所利用者の利用が大きく減った。

【短期入所受入れ状況】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R5 年度	149	159	148	188	146	171	167	166	109	130	109	100	1742
R6 年度	142	158	164	152	107	109	88	109	77	85	59	64	1314
実人数	12	14	12	15	10	11	11	11	9	10	9	8	132

【日中一時支援受入れ状況】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R5 年度	49	43	52	65	62	63	74	72	68	74	66	64	752
R6 年度	30	29	30	33	29	27	30	32	29	27	34	7	337
実人数	5	6	5	6	6	5	6	6	6	4	7	5	67

2. その他

①利用者の状況

生活介護 定員 60 名・登録者 70 名
 施設入所 定員 50 名・登録者 52 名

②年齢内訳

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	計
男性	1	2	2	4	18	1	1	0	29
女性	0	0	2	2	10	3	1	5	23
通所	1	4	4	7	1	1	0	0	18
計	2	6	8	13	29	5	2	5	70

※平均 50.4 歳（男性：51.8 歳 女性：57.3 歳 通所：39.2 歳）

※最高年齢 男性：65 歳 女性：79 歳 通所：64 歳

③障害支援区分

区分	3		4		5		6		計	
	R6.4	R7.4								
年・月										
男性	0	0	1	1	3	3	25	25	29	29
女性	0	0	2	2	9	9	12	12	23	23
通所	0	0	2	3	3	4	12	11	17	18
計	0	0	5	6	15	16	49	48	69	70

※平均 5.5 （男性：5.7 女性：5.4 通所：5.4）

④日常健康管理の状況

	入所	通所
体重測定	毎月 1 回実施	4 ヶ月に 1 回実施
検温	毎日実施	毎日実施
口腔衛生	毎月 1 回実施	年度初めに実施
歯科検診	7/4	なし
インフルエンザ予防接種	11/1・11/5・11/8	11/5
利用者健康診断	11/11・11/13・11/14・11/15	11/11 感染症採血
内科嘱託医相談	毎月 1 回実施	なし
体調の変化	日々確認	日々確認

⑤入院状況

8 月	入所男性	肺炎
9 月	入所男性	肺炎
11 月	入所女性	脳梗塞
11 月	入所男性	肺炎
1 月	入所女性	脳梗塞
3 月	入所男性	肺炎

⑥日常生活

- ・感染症対策として、男性棟、女性棟、通所で空間を区切り活動はそれぞれで実施。利用者の状態をより深く把握できる体制を作った。
- ・体力維持や機能維持を意識した活動を行った。体力活動では、長距離の歩行が難しい利用者も、中庭やグラウンドに出て外で活動するようにした。機能維持では、個々に合ったメニューを提供できるよう、係内で話し合ったり、会議で検討を続け、活用できそうな物品は購入した。
- ・体調の変化に早い段階で気づき、対応できるよう、日々の様子を把握したり、気になる事は複数の職員で確認し合い、早めの通院や対応を心掛けた。
- ・入所利用者の帰省、保護者と面会や外出などは、感染症の流行状況を見極めながら実施した。事業所内で感染症が流行していた時期は制限させていただいたがそれ以外の時期は制限なく実施した。

⑦給食管理

- ・利用者の身体状況によって、超刻み食、刻み食、一口食、減塩食などの食事形態を提供した。体調によっては回復までお粥食を提供した。
- ・毎月、季節にあった行事食献立を提供する事としたが、3月はコロナウイルス感染の関係で中止した。

4月	悠雲寮 36年祝献立・春の彩り弁当
5月	こどもの日祝献立
6月	あじさい花見弁当
7月	さっぱりそうめん献立・土用の丑の日（うなぎ）
8月	夏野菜たっぷり献立
9月	敬老の日祝献立
10月	秋の行楽弁当
11月	秋の味覚満喫献立
12月	クリスマスバイキング・年越しそば
1月	おせち料理（1/1）・七草粥・鏡開き
2月	節分献立（恵方巻）
3月	ひな祭り献立→中止
毎月1回	誕生日献立・喫茶（2月はケーキバイキング）

【給与栄養目標量】 厚生労働省「食事摂取基準」より

<男性>

エネルギー	1800kcal
蛋白質	90 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミンA	600 µg

<女性>

エネルギー	1650kcal
蛋白質	70 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミンA	600 µg

3. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
女性棟	181,500	引戸修繕、トイレ詰まり、廊下仕切取付、ユニットバスメンテナンス
男性棟	55,000	居室照明器具絶縁修理
通所	31,460	照明器具 LED 更新
さくら棟	334,400	倉庫ドア改修、トイレ詰まり
厨房	285,560	自動水栓取替、ピット内排水管修繕、ガス配管固定、動洗米機撤去
食堂	465,300	照明器具 LED 更新
医務室	11,000	ドア修繕
洗濯室	135,850	水栓他漏水、業務用洗濯乾燥機点検修理、引戸取替、換気扇取替
廊下	182,710	誘導灯ランプ交換、ヘルメットホルダー手すり工事他
その他	55,000	外部ドアクローザー取替、錠取替
計	1,716,320	

(2) 物品購入

・ 固定資産登録	正面伸縮門扉	716,100 円
	支援室 空調機更新	329,989 円
・ 器具備品		
	防災用ワンタッチタープテント4張	152,996円
	防災食(豚汁セット、パスタ、水)	103,356円
	防災用 薪置き、カバー	23,980円
	ヘルメットラック6台	45,650円
	蛍光灯	63,250円
	キャリーワゴン2台	25,600円
	レジャーシート10張	19,800円
	防災用デジタル簡易無線機14機	641,740円
	防災食 各種	498,182円
	防災用 利用者衣類	73,152円
	防災用 トイレ、汚物ポット	55,624円
	男性棟 空気清浄機2機	151,800円
	男性棟 タイルカーペット	26,814円
	女性棟 小型洗濯機	56,430円
	女性棟 空気清浄機ユニット	13,650円
	防災用非常用持出袋、軍手、LED ランタン他	132,616 円

○ほほえみ&みのり工房

1、部門目標に対する取り組み

(1) 支援に関する事

家庭・病院・各市町・嘱託医・相談支援事業所と連携を図り、利用者の生活面に配慮し、課題解決に繋がる支援に努めた。

①作業内容を工夫し、工賃アップを目指す

令和5年度で終了したランチ作業および邦英商興からの委託作業により、合計約400万円の減収要因が発生。その補填を目的として、新たな委託業務の獲得や販路の開拓を行った。

その結果、令和5年度と比較して約130万円の減収に抑えることができた。利用者工賃の引き上げには至らなかったが、平均工賃2万円以上を支給できた。

【提供作業】

	場所(内容)	R5年度売上	R6年度売上	増減
パン作業	パン製造・販売	5,731,114円	5,606,270円	▲124,844円
菓子作業	焼き菓子製造・販売	9,784,868円	10,754,137円	969,269円
下請け作業	箱折・ビニール拭き 役場、企業受託作業	3,975,217円	5,559,257円	1,584,040円
ランチ作業	昼食提供 ※R5年1月で終了	2,215,854円	—	▲2,215,854円
農作業	野菜販売			
清掃作業	長泉町浄配水場・役場駐車場・ その他委託場所(草刈り 清掃 他)			
園芸作業	役場・清掃事業所・浄配水場・ その他委託場所(花壇管理)	3,954,200円	4,323,022円	368,822円
施設外作業	邦英商興株式会社(清掃業務補助) ※R5年末で終了	1,840,199円	—	▲1,840,199円
その他	イベント販売等 (飲み物、ポップコーン 他)	121,635円	84,658円	▲36,977円
		27,623,087円	26,327,344円	▲1,295,743円

【令和6年度 利用者工賃】

	R5年平均工賃	R6年平均工賃	最高額	最低額
就労移行支援	20,777円	17,141円	62,759円	4,420円
就労継続支援B型	21,224円	20,022円	71,613円	160円

②虐待防止・身体拘束の適正化への取り組み

毎月事業所内で虐待防止会議を実施。支援の中での不適切な対応等の確認や虐待防止に関する職員研修等を実施。事業所内での虐待、身体拘束はなかった。虐待防止会議の内容は法人内障害者虐待防止委員会にて共有した。

③個々に適した就労先の開拓

利用者の作業面、身体面・精神面を考慮した上で企業見学・実習を提案。就職面接会の参加や企業訪問等、積極的に実施し実習・見学を実施した。令和6年度は就職者2名。

【企業見学・実習先】

企業名	求職活動	実習	人数	備考
鴻池運輸（株）	○	○	1名	
アルムメディカルサポート（株）	○	○	1名	1名採用 (R6.5.1付)
ウェルシアオアシス（株）	○		1名	
（株）旭洋工業製作所	○	○	1名	1名採用 (R6.4.1付)
株式会社デイベンロイ	○		1名	
ハローワーク（就職面接会）	○		1名	

④就職者に対し、企業と連携を取り職場定着を図る

就職に繋がった企業に対し、定期的に連絡・訪問を実施。就職した本人や企業側の問題点・課題を確認、解決に繋がる支援を実施した。

令和6年度は生活環境（家族関係）の変化による精神的不調で就労に影響が出た方が2名。企業に状況を確認したり精神科受診結果の共有を図る等の調整を行い、2名ともに休職扱いで体調を整えている。

（2）人材に関する事

①外部・内部研修

- ・外部研修は受講必須のサービス管理責任者の更新研修、福祉サービス事業者説明会に参加。また、勤務年数や担当業務に応じた研修にも参加し、職員会議で受講内容を報告・共有する事で、他職員のスキルアップにも繋げた。
- ・内部研修は虐待防止に関する内容を主に、日々の支援に必要な研修を月に1回程度実施し、職員全体の支援の統一とスキルアップに繋げた。

【外部の研修】

月 日	研修名	参加人数	主催者
4/19 ～5/19	社会福祉法人監事監査研修（web）	2	静岡県社会福祉協議会
5/8	人が育つ組織づくり講座	1	静岡県 社会福祉人材センター
6/21 ～7/12	福祉職員キャリアパス対応生涯研修家庭 チームリーダーコース	1	静岡県 社会福祉人材センター
5/31 ～7/2	意思決定支援演習講座（集合+ web）	1	静岡県 社会福祉人材センター
9/12～13	甲種防火管理新規講習	1	日本防火・防災協会

11/25 ～1/17	令和6年度 障害児・者福祉サービス事業者説明会（web）	5	静岡県健康福祉部 福祉長寿局福祉指導課
10/10 ～12/4	サービス管理責任者等更新研修	1	静岡県障害者政策課
2/17	虐待防止研修	3	長泉町 障がい者自立支援協議会

【内部の研修】

月 日	研修名	参加人数	講師
4/2	新年度 ほほえみ&みのり工房運営計画説明	12	施設長
4/24	感染症について	12	施設長
5/7	障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化への取り組み規定について	12	施設長
6/4	障害者虐待防止法の理解	12	施設長
6/4	法人内のルール(服装)	12	副主任
7/24	防ごう！食中毒	12	副主任
8/6	AED 研修	12	アルソック
8/6	自立支援協議会について	12	副主任
8/14	事業所見学の報告	12	副主任・職員
9/3	成年後見制度について	12	副主任
11/13	冬の感染症について	11	副主任
11/27	行動制限や身体拘束解消に向けての支援	12	副主任
1/29	ハラスメントは許しません！	12	施設長
2/19	利用者送迎・業務内車両運行時の注意事項	12	施設長
3/5	被評価者研修	12	園長
3/27	キャリアパス・人事評価規定	12	園長
3/27	規定類一部改正について	12	園長

②業務、手順の明確化

- ・各種業務の手順書を確認し、その都度状況に合わせた内容に更新した。

(3) 地域に関する事

① ボランティア、学生実習受け入れ

【体験学習等の受け入れ】

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
長泉北中学校（支援級）	5回	29	作業学習
沼津特別支援学校	5回	60	職場実習
御殿場特別支援学校	2回	15	職場実習
伊豆の国特別支援学校	2回	20	職場実習
東部特別支援学校	2回	20	職場実習
沼津特別支援学校愛鷹分校	1回	5	職場実習
小田原短大実習	1回	20	保育実習
順天堂大学実習	2回	24	施設実習
知徳高校	7回	93	施設実習
御殿場特別支援学校教職員	1回	7	施設見学・説明等
沼津特別支援学校教職員	1回	7	施設見学・説明等
東部特別支援学校教職員	1回	10	施設見学・説明等

【ボランティアの受け入れ】

所 属 等	年間回数	延べ人数	内容
地域の方々	26	26	作業の手伝い
マムズ	28	28	作業の手伝い
令和の会（保護者会）	9	23	作業の手伝い

② 地域のお祭りや行事に積極的に出店

	行事名	回
4月	鴻池販売(2) 民生販売	3
5月	鴻池販売(2) モクカフェ販売 民生販売	4
6月	鴻池販売(2) モクカフェ販売 仲良し会販売	4
7月	鴻池販売(2) モクカフェ販売 南一色区民祭 駿河平夏祭り(景品買取)	5
8月	鴻池販売(2) 長泉町事業所部会福祉フェア	3
9月	鴻池販売(2) 民生販売 モクカフェ販売 区民城山祭り	5
10月	鴻池販売(2) 民生販売 モクカフェ販売 福祉健康まつり	5
11月	鴻池販売(2) 民生販売 モクカフェ販売 読書フェア販売 シニアクラブ グランドゴルフ大会販売	6
12月	鴻池販売(2) モクカフェ販売 障害者週間販売	4
1月	鴻池販売(2) 民生販売	3
2月	鴻池販売(2) 民生販売 いずみんマルシェ販売	4
3月	鴻池販売(2) 民生販売	3

③地域課題 等の共有

長泉町障がい者自立支援協議会に参加し、定期的に会議に出席して支援現場における課題や問題点を共有した。

令和6年度は、町内の福祉事業所を広く知ってもらうことを目的に、8月に福祉フェアを開催した。特別支援学校や支援級に通う子どもを持つ保護者からは、「高校卒業後の進路がイメージできず不安」との声があり、福祉サービスについての認知不足が不安の大きな要因であると感じた。

また、本フェアは参加事業所同士の情報交換の場ともなり、顔の見える関係づくりにもつながった。

こうした成果を踏まえ、令和7年度以降も継続開催されることとなった。

(4) 経営管理に関する事

①利用者の通所率アップ（収入アップ）を図る

- ・年間を通して新規利用者を7名獲得したが、退所者が8名（他事業所への移籍5名、介護保険サービスへの移行1名、死亡2名）となった。また、精神・身体状態の悪化により長期入院となった利用者が4名いたため、大きく通所率を増加させることはできなかった。
- ・事業所独自のInstagramを開設し、閲覧数を増やすための手法を模索しながら、週2回以上の投稿を継続するよう努めた。その結果、SNSを通じて事業所に興味を持った方からの問い合わせが多数寄せられた（商品の購入、施設見学、職員募集など）。

【通所内訳、前年度比較】

	定員	延べ登録者	平均利用者数	令和6年度延べ利用者数	令和5年度延べ利用者数	増減
就労移行支援	6名	13名	2.0名/日	515人	772人	▲257人 ※1
就労継続B型	34名	54名	39.0名/日	10547人	10182人	365人
就労定着支援	—	4名	—	29人	57人	▲28人 ※2

※1→登録人数2名でスタート。内1名が5月に就職。

年間通して就労アセスメントの利用が多かった。

※2→11月末終了

②非常災害、感染症対策の強化

法人内障害事業所防災委員会は隔月、感染症対策委員会は毎月実施。

各事業所の防災訓練内容や感染症対応状況等の共有、法人内障害者施設の事業継続計画の見直しを行った。

【防災訓練実施内容】

	訓練内容		訓練内容
4月	災害伝言・スラック訓練	10月	障害者総合防災事業継続訓練
5月	炊出し訓練 防災食体験	11月	火災想定避難訓練
6月	送迎時伝達訓練	12月	地震についての説明
7月	起震車体験 火災想定避難訓練 消防訓練通知書提出（長泉消防）	1月	171訓練

8月	AED 研修	2月	火災想定避難訓練
9月	送迎運転手 171 訓練 BCP 訓練の事前準備 消防立ち入り検査	3月	防災倉庫整理・点検 防災食購入

2、その他

(1) 利用者の状況

市町別登録人数等

令和7年3月31日付

【就労移行支援事業】定員6名 登録1名

区分	登録人数			年齢内訳				
	男	女	計	～19	20～29	30～39	40～49	50～
長泉町	1		1	1				
裾野市								
三島市								
計	1	0	1	1				

【就労継続支援事業 B 型】定員34名 登録46名

	登録人数			年齢内訳				
	男	女	計	～19	20～29	30～39	40～49	50～
長泉町	18	15	33		4	5	9	15
裾野市	3	3	6	1	1		1	3
清水町	3		3		1			2
伊豆の国市		1	1					1
三島市		1	1			1		
熱海市		1	1				1	
函南町	1		1	1				
計	25	21	46	2	6	6	11	21

(2) 施設行事

①社会訓練

9月に実施。

高齢、重度化が進んでいる事もあり、大きな団体での移動に無理が出てきた。4グループに分かれ、外出を通して公共施設での外食、買い物のマナーを身につける目的で実施した。

②季節行事

以下内容を実施。利用者の作業へのモチベーションアップに繋がった。

- ・4月15～18日 健康イベント
- ・7月4日 七夕イベント
- ・8月8日 かき氷大会
- ・10月24日 健康ハロウィンイベント
- ・12月24～25日 クリスマス2days (ランチ)
- ・2月3日 節分イベント
- ・3月31日 1年お疲れ様会

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

施設内カーテン取替工事	811,173 円
事務所金庫シリンダー交換修理	99,000 円
施設内各所流し修繕工事	97,000 円
送迎車両 傷へこみ修理	83,600 円
2階トイレつまり修理	49,500 円
2階食堂 排水管内高圧洗浄	36,300 円

計 1,176,573 円

(2) 物品購入

防災用長期保存食	369,144 円
送迎車両 タイヤ交換	55,000 円
送迎車両 バッテリー交換	37,000 円
剪定用バリカン	36,938 円
送迎車両 ETC 取り付け	34,572 円
窓掃除ロボット	34,856 円
バーコードスキャナー・ラベルプリンター	21,430 円
PC用雷ガード	20,350 円

計 609,290 円

○ゆううん

1、目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 相談者からの意見や要望を会議で取り上げ、PDCA サイクルにのっとり利用者の満足につなげる。

R6 年度について、以下の通り対応。

苦情 1 件：モニタリング報告書の記載内容について保護者様が不安になるような記載あり。作成者との面談を実施し、他相談員にも留意点として周知した。

令和 5 年度 新規計画相談開始人数…28 人 ※以下は請求件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
計画作成	31	15	21	28	18	13	20	23	23	18	20	20	250
継続相談	29	39	53	45	34	43	38	28	58	41	43	54	505
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
地域移行	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6
区分調査	1	4	0	3	4	3	4	2	1	8	1	3	34

※地域定着：継続 1 名 緊急対応：7 件（体調確認）

※地域移行：R5 年度 1 名

令和 6 年度 新規計画相談開始人数…45 人（契約内容報告書より）※以下は請求件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
計画作成	43	14	19	17	21	17	20	22	21	17	24	18	253
継続相談	42	36	62	38	26	25	43	37	51	47	35	52	494
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	5	6	4	6	5	5	6	2	2	2	2	8	53

※地域定着：継続 1 名について、入院のため終了。支援中の緊急対応 2 件（体調確認）

※地域移行：R6 年度実施なし。

- ② 基幹相談支援センターとして長泉町障がい者自立支援協議会を活かした町内の虐待防止意識を高める取り組みをする。

基幹相談支援センターとし虐待防止研修会を初めて企画・開催。町内の事業所より合計 24 名の方に参加いただいた。

■日程：令和 7 年 2 月 17 日（月）AM

■講師：静岡県社会福祉士会障害者差別解消相談窓口 土屋正子氏

■研修タイトル：町内障がい福祉従事者のためのスキルアップ研修

「虐待防止研修～これも虐待？の疑問を整理しよう～」

- ③ 朝ミーティングや事例検討会での報告を通し、支援方法の振り返りと改善する機会につなげる。

R6年度、事例検討会開催希望はなし。毎朝実施しているミーティングや月1回開催しているマネジメントレビューの場で意見交換し、支援の振り返りを行った。毎月開催している相談支援部会の事例検討に2事例取り上げ、他事業所の視点から助言いただく機会を設けた。

(2) 人材に関すること

- ① 外部研修へ参加し、会議での情報共有を行う。

マネジメントレビューにて、外部研修により得た情報を参加者より報告した。

<外部研修参加実績>…22件

例) 事業者説明会、相談支援従事者研修、主任相談支援専門員フォローアップ研修、発達障害に関する研修、ひきこもりに関する研修、虐待防止に関する研修、精神保健福祉関係研修 他

- ② 自己研鑽を会議で報告し、様々な着眼点からの知識を得る。

<自己研鑽の発表実績>…12件

例) インクルーシブユニバーサルデザイン、モンテッソーリ教育、ポリヴェーガル理論、良い小論文の書き方、MHSWの役割、虐待防止の手引き 他

- ③ グループスーパービジョンの取り組みとして、会議で他者の良い取り組みについて共有し、取り組み方法の見直しと、モチベーション維持につなげる。

マネジメントレビューにて、良い取り組みについて共有機会を設けた。

例) 悠雲寮職員の声掛け、他事業所で取り入れている便利ツール、他相談員の工夫 等

(3) 地域に関すること

- ① 基幹相談支援センターとして地域からの相談窓口となり、横のつながりを築きながら地域で支える仕組みづくりをする

※求められる4つの機能に対する取り組み

◆総合的・専門的な相談支援の実施

◆地域の相談支援体制の強化の取組

◆地域移行・地域定着の促進取組

◆権利擁護・虐待防止

<基幹相談支援センターとしての具体的な取り組み結果>

・長泉町重層担当による定例会議およびケース検討会に出席

・長泉社協主催の支援調整会議に出席

・駿東田方圏域自立支援協議会運営会議・相談部会に出席

・法定研修における課題協力

・裾野市、清水町合同で、主任相談支援専門員による研修会を企画、開催

・基幹相談支援センター主催虐待防止研修会を企画・開催

- ・相談支援部会にて、介護分野との座談会を初開催。
 - 日程：令和6年7月26日（金）AM いずみの郷にて
 - 参加者：町内ケアマネ10人 相談支援専門員10人
オブザーバーとして福祉保険課2名、社協2名
 - タイトル：介護・障害分野の座談会～お互いの業務を知ろう～
- ・相談支援部会にて、ピア meets ピア in ながいずみを開催
 - 日程：令和7年1月25日（土）PM 防災センターにて
 - 参加者：精神障害のある当事者、その家族、支援者 計33名
- ・事業所部会にて、福祉フェアを開催
 - 日程：令和6年8月6日（火）10：00-15：30 ウェルピアにて
 - 参加者：29組（当事者、家族、教育・福祉など関係者）

- ② 感染症発生時、どのように相談業務を継続できるが検討機会を設ける。
毎月開催する感染症対策会議にて、感染症対策委員会からの共有事項の他、感染状況の把握や留意点について申し合わせを実施した。
また、その時期における熱中症対策等の内部研修も行い、地域の方への支援力につなげた。
- ③ 日々の業務や自立支援協議会の場で防災意識を高める取り組みを行う。
- ・新規支援開始時、避難場所について確認を実施。
 - ・6月、10月にBCPに基づいた総合防災訓練を実施。
「受付・相談窓口」の動きや防災備品の確認を行った。
 - ・事業所部会での防災アンケートに協力。

長泉町障がい者自立支援協議会 “いずみのわ” 活動実績

会議名	開催回数	活動内容
全体会	1回（2月）	各部会活動報告 地域課題の検討 行政報告
運営会議	5回（全体会打合せ含）	各部会活動報告 課題検討 全体会打合せ SNSの活用について
子育て支援部会	5回	サポートファイル 医療的ケア児支援 課題検討 情報交換
事業所部会	6回	事業所紹介・相談 福祉健康まつり出店 課題検討・情報交換 ミニ就労部会 ★8月5日福祉フェア開催

相談支援部会	12 回	事例検討 地域資源等情報共有 虐待防止関係 課題検討 ★1 月 25 日ピア mees ピア 開催
地域生活支援拠点プロジェクトチーム（行政主導）	1 回（1 月 24 日）	拠点対象者の検討 運営状況の確認

（4）経営管理に関すること

- ① 報酬改定で明示された加算項目について、会議で実施結果を共有し法制度の理解と収益につなげる。
 - ・朝ミーティングやマネジメントレビューの他、随時把握した情報を共有。
 - ・マネジメントレビューにて、当月に加算取得可能なケースについて整理した。
 - ・加算取得件数：集中支援加算および居宅介護支援連携加算他 17 件
地域定着支援における加算 2 件
- ② ほぼほぼの機能を再確認する等、一つ一つの業務の簡略化、効率化につなげる。マネジメントレビューにて、気づいた機能について共有機会を設けた。効率化までは至らなかったが把握していなかった機能を共有する機会となった。
- ③ 有効なアプリ等を活用し事務作業時間の短縮・相談業務に取り組める時間を確保する。
 - ・ Google フォームを活用したアンケート作成・集計を実施
 - ・ Google ドキュメントの音声文字お越し機能について議事録作成時に活用

2、その他

（1）支援実績

相談件数 ※児童含む

	令和 5 年度	令和 6 年度
長泉町内 述べ件数	8553	11969
長泉町内 実人数	314	318

長泉町外の対応者：法人内事業所利用者、他 4 名
契約終了：52 名（転出、サービス終了、他界 等）
新規契約：45 名（利用再開者含む）

主な相談内容

	支援内容	令和 6 年度
①	福祉サービスの利用等に関する支援	4480
②	障害や症状の理解に関する支援	1170
③	健康・医療に関する支援	1378
④	不安の解消・情緒安定に関する支援	896

⑤	保育・教育に関する支援	446
⑥	家族関係・人間関係に関する支援	1324
⑦	家計・経済に関する支援	242
⑧	生活技術に関する支援	769
⑨	就労に関する支援	764
⑩	社会参加・余暇活動に関する支援	280
⑪	権利擁護に関する支援	189
⑫	その他	31

- ・1人の相談者に対し1度に複数項目にまたがる支援を実施。
- ・重層との連携から、診断のない方やそのご家族への支援機会が増えた。

(2) 障がい者余暇支援事業 「ハッピーの㊦」(委託)

今年度も長泉町より受託し、年7回開催。延べ101名の方に参加いただいた。

<開催結果>

日時	行事内容	場所	参加費	参加人数
5月18日(土)	オリエンテーション	コミュニティ長泉	無料	13
6月15日(土)	ワークショップ	コミュニティ長泉	自己負担	16
7月13日(土)	ボウリング	商業施設	自己負担	13
9月21日(土)	スポーツを楽しむ会	ウエルピア長泉	無料	12
10月12日(土)	筆文字アート	コミュニティ長泉	無料	16
12月21日(土)	クリスマス会	コミュニティ長泉	無料	14
1月18日(土)	いちご狩り	大富農園	自己負担	17

(3) 施設設備、工事計画および器具備品の計画

維持補修

- ・なし

物品購入

備品

<環境整備>

- ・携帯電話2台追加
(相談員6名が各1台ずつ所有する体制とする。)

<感染症対策>

- ・マスク(個包装)6箱…9415円

<防災備品>

- ・防災倉庫1台購入
- ・折畳式ホワイトボード8480円
- ・Anker 535 (512Wh) ポータブル電源 & Solix PS100 (100W) ソーラーパネルセット1セット…96990円

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 少子化が加速度的に進み、国をあげてその対策に動き出した令和 6 年度、保育の質とは何か、そして、その向上とはどのような状態を指すのかを全員で考え、これまで以上に主体性にフォーカスした保育を行なった。主体性というものの本質を捉え、保育に落とし込めるよう、会議や園内研修の在り方も変化を求めた。これまで同様に本当に必要なものは残し、変えてよいもの、不要なものは再考した。保護者にも、自分たちが目指す保育を再度説明し、賛同を得ることができた。家庭と園の両輪を回していくことで、目指したい姿につなげていった。また、昨年度以上にススミダスの園児との交流できる場面を増やし、子ども達の世界観を広げる保育を展開することができた。
- ② 上記に対応する個人スキルを高めるべく、外部研修に積極的に参加した。キャリアアップ研修をはじめ、静岡県保育連合会主催の研修、全国的な規模の研修など、今自分たちの求めるものにフィットした研修を選んだ。職員数の関係で十分に参加しきれたとは言えないが、次年度につなげることはできたと考える。また、オンデマンドの研修などに自己研鑽として参加する職員も多く見受けられた。内部研修はおよそ月に 1 度のペースで実施することができ、保育実践や振り返り、支援児対応、不適切保育等についての見識を広げた。全体的な計画や年間計画、月案、週案などの見直し、ペーパーレス化はこれまで同様継続して行った。
- ③ 子どもの主体性を引き出し、対話的な保育となっているか、また、計画は子どもの興味や発達に沿ったものになっているかを検討し、必要に応じ変更を行った。園内環境や園庭、果樹園の充実を図り、環境を通した保育を目指した。支援を必要とする園児には、ススミダスや行政、他市町村の療育機関と連携を図りながら支援し、その子にとって最適な場所への接続を行うことができた。月に 1 度の職員会議では、事前に課題や協議事項を明確にして時間の短縮を図り、クラス業務に充てる時間増と時間外労働削減に努めた。各クラスからの現状報告や保育の振り返りについては、ドキュメンテーションを用いて実施した。

- ④ マネジメントカメラを活用し、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。園庭、果樹園のカメラも利用し、安全面の充実を図った。
- ⑤ ドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)での情報発信、「おうちえん」での動画配信を継続。『保育の見える化』を進めた。スマートフォンへの情報配信は今年度も好評であったが、発信頻度を増やして欲しい旨の要望があったため、次年度より対応予定である。
- ⑥ ICT システムの活用や、業務の細かな分担、年次有給休暇の積極的取得により、働きやすい職場作りを行った。登降園チェックシステムキッズリーは連絡帳機能だけでなく、保育計画や振り返りにも活用した。完全キャッシュレスに移行した集金システムは、相変わらず保護者から好評であった。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を整理し、職員会議にて伝達した。細かな伝達、連絡は漏れをなくするために SLACK を継続して使用。
- ② 外部研修を積極的に受講し、そこで得た知識や情報は SLACK や毎月の職員会議で共有した。園内研修チームが中心となり、職員からのニーズを踏まえた園内研修も企画、実施した。
- ③ 園内研修や研修報告では、一方的な講義だけでなく双方向の意見交換の場も設けるなど、参加型の研修を取り入れた。

(3) 地域との連携

- ① 県内、隣県の保育士養成校への挨拶回りを行った。新入職員採用試験への応募が前年度の倍以上になるなど、効果はすぐに現れた。
- ② 長泉町役場こども未来課、その他の行政機関との連携は例年通り行った。学生の見学、実習受け入れになども積極的に実施した。
- ③ 南一色の夏祭りに、年長、年中が初めてこのはな保育園として参加。

(4) 安定した経営

- ① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。発注時期を決め、発注回数を減らし、管理のしやすさも求めた。
- ② 長泉町役場と連携を取り、4月の園児数103名から、年度末は110名まで受け入れを拡大した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	1日	進級式(在園児のみ)
	3日	入園式
	20日	新年度説明会
5月	10日	親子遠足(3歳以上児)
	16日	歯科検診
	23日	内科健診
6月	14日	第1回オープン参観
7月	5日	七夕のつどい
	13日	南一色夏祭り参加(年中、年長)
	27日	このはな夏祭り
8月	3日	ながいずみわくわくまつり(年中、年長)
	14～16日	希望保育
9月	2日	防災引き渡し訓練
	10日	一斉見学会①
	20日	一斉見学会②
	30日	第1テレビ撮影
10月	6日	このはな運動会→前日雨のため順延
	30日	新入園希望児面接
11月	14日	内科検診
	18日	焼き芋大会
	22日	祖父母参観会
12月	7日	このはな発表会→2部制にて実施
	12日	もちっこ会
	20日	クリスマス会
	30日～31日	休園日
1月	1日～3日	休園日
	6日	新年の集い
2月	3日	節分のつどい
	7日	第2回オープン参観
	28日	修了写真撮影
3月	5日	入園説明会
	7日	お別れ遠足(年長)
	12日	そら組さんありがとうの会
	15日	活動報告会
	28日	修了式
	29日	卒園式
	31日	希望保育(次年度準備)

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	6	16	21	21	21	18	103
5月	7	16	21	21	21	18	104
6月	8	16	21	21	21	18	105
7月	9	16	21	21	21	18	106
8月	9	16	21	21	21	18	106
9月	11	16	21	21	21	18	108
10月	11	16	21	21	21	18	108
11月	12	16	21	21	21	18	109
12月	12	16	21	21	21	18	109
1月	12	16	21	21	21	18	109
2月	12	16	21	21	21	18	109
3月	13	16	21	21	21	18	110

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上、webにて)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時、webにて)
- ③ 連絡帳(アプリ Kidsly)でのやりとり
→0.1.2歳児:園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児:必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④ 緊急連絡、お知らせ、重要事項の確認などもキッズリーにて行った。
- ⑤ ブログの更新、Instagram、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を掲示(スマホに配信)。

6. 延長保育利用実績

① 18時以降の利用は延長保育とした。

② 利用料金 18時～18時29分 → 200円

18時30分～19時 → 500円

③ 利用人数は延べ685人。延長料金は年間で158,900円であった。

7. 一時預かり事業

(1) 利用人数は延べ342人。利用料金は年間で709,500円であった。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
ガス	29,700	器具管接続部品交換工事一式
保育室	33,000	戸車取替工事
保育室	26,400	戸車取替工事
保育室	62,480	戸車取替工事、窓施錠工事
保育室	16,500	電子ピアノ数修理
門扉	16,500	アルミ門扉掛け金取付工事
保育室	12,100	カラーボックス転倒防止工事
園庭	550,000	大型遊具高圧洗浄、塗装、錆止め
園庭	127,600	放流先ビッド土砂除去
園庭	297,000	園庭改修工事
園庭	27,500	日除け掛けフック取付工事
園児トイレ	16,500	ロータク、手洗器水栓修理工事
園児トイレ	237,600	空調機修理、紙巻き器更新、 ロータク内部金物調整
厨房	328,900	壁掛けエアコン、天井カセットエアコン
職員室	286,000	火災通報装置取替工事
エレベーター	92,400	非常用電源バッテリー取替工事

(2) 物品購入

①害虫駆除用クリーンホープ[®] 薬剤 4個 70,400円

・固定資産

・器具備品

① きせかえ人形3体組	1セット	14,300円
② ハイブリット加湿器	3台	85,800円
③ 園児用食器	60枚	52,800円
④ 絵本棚・ラグ	1式	39,600円
⑤ カッピーライダー	3台	32,340円
⑥ 大型二人乗り三輪車	2台	96,000円
⑦ ブライト [®] パーテーション	3台	105,000円
⑧ ラップポンPF	1式	160,000円
⑨ タープ	1枚	24,900円
⑩ ニューブロック	1個	23,100円
⑪ ブロック [®] ラス [®] ラス [®] パ [®] ステル	2セット	28,160円

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家

1. 目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 利用者満足度アンケートの結果や日々の利用者の要望を聞き、日帰り旅行や行事等を利用者ととともに検討し、利用者の意思決定支援につなげる。
- ・満足度アンケートの結果から外出はもっと行きたいという意見が多くあり2回実施した。行き先については利用者と話し合いの場を設け、ららぽーとと小田原に決めた。
 - ・仕事先について他の事業所も見てみたいと相談が2名から上がり、相談支援事業所ゆうんとともに希望に沿う事業所への見学・体験を実施した。
体験後、希望の事業所へ通うことができている。

〈実施内容〉

4月18日	4月誕生会	10月7日	日帰り旅行（小田原）
5月23日	5月誕生会	12月12日	クリスマス会・12月誕生日会
6月20日	6月誕生会	2月13日	2月誕生日会
7月20日	外出（ららぽーと）	3月13日	3月誕生日会

〈利用者状況〉

利用者	年齢	程度	勤務先	給料（月額）	年金月額	出身地
A（女）	75	中度	ほほえみ&みのり工房	21,000円	65,000円	長泉町
B（女）	40	軽度	（株）旭洋工業製作所	120,000円	65,000円	三島市
C（女）	39	軽度	さつき園	132,000円	65,000円	熱海市
D（女）	78	中度	からふる工房岡宮	21,000円	65,000円	長泉町
E（女）	44	軽度	ほほえみ&みのり工房	20,000円	65,000円	熱海市
F（女）	63	中度	ほほえみ&みのり工房	20,000円	65,000円	裾野市
G（女）	68	中度	ほほえみ&みのり工房	20,000円	85,000円	長泉町
H（男）	54	軽度	ほほえみ&みのり工房	100,000円	65,000円	清水町
I（男）	58	軽度	ジョブカレッジ	23,000円	65,000円	裾野市
J（男）	37	軽度	鴻池運輸株式会社	150,000円	65,000円	長泉町

離職者1名 平均年齢56.6歳

- ② 毎月の会議内で虐待防止や権利擁護を推進するために、職員間での情報共有を行うとともに、利用者のプライバシーの権利を守るための支援について検討し、利用者支援の向上を目指す
- ・月に1回虐待防止会議をGH内で実施。（年12回）
会議内で虐待の研修を行い、支援の振り返りを行うとともに困りごとについての共有も行った。
 - ・月に1回法人内障害者虐待防止委員会に参加（年12回）
各事業所が集まる法人内障害者虐待防止委員会にてGHの報告を実施し、各事業所からの情報をGHの虐待防止会議にて職員に周知した。

- ③ 会議で支援方法についての振り返りと改善を協議し、利用者のニーズに沿った生活ができるように支援する。
- ・毎月の会議で問題点を検討し、統一的な支援を実施することで問題なく生活が送ることができた。

(2) 人材に関すること

- ① スキルアップに必要な外部研修を受講するとともに、世話人に対しての内部研修を定期的に行って利用者支援に活用していく。

外部の研修

月 日	研修名	参加人数	主催者
5月8日	人が育つ組織づくり講座	1	静岡県
9月28日	ICT 支援者研修	1	静岡県
1月17日	令和6年度サービス事業者説明会	1	静岡県
1月31日	富士見学園実践研修報告会	1	静岡県
2月17日	虐待防止研修	1	長泉町

内部の研修

月 日	研修内容	参加人数	講師
4月30日	虐待防止規程について	4	木村
5月31日	セルフチェックリストについて	4	木村
6月27日	食中毒予防について	5	福田栄養士
7月26日	静香会品質マニュアルについて	4	下山統括施設長
8月29日	成年後見制度（事例）について	4	木村
10月25日	支援の振り返り（ストレスチェック）	4	木村
12月3日	行動制限、身体拘束解消に向けての支援	4	木村
12月26日	差別解消法について	4	木村
12月26日	吐しゃ物の処理について	4	木村
3月27日	運営計画等について	4	下山統括施設長

- ② 職員が悩みごとや困りごとを言いやすいようにコミュニケーションをとり、ワークライフバランスに配慮した業務が行えるようにする。
- ・年に2回（8月と2月）に職員面談を実施。
世話人の困りごとを確認し、解決の為の提案を行い、改善を行った。
 - ・GH会議（年12回）内で困りごとや改善すべきことについて話し合い、必要に応じて助言を行い問題なく業務ができた。

(3) 地域に関すること

- ① 毎月の奉仕活動の実施や外部の会議や研修に職員が参加をし、情報収集や困難事例の検討等を通して、地域の課題を把握していく。
- ・2か月に1回開催された事業所部会に7/9、11/12、1/14の計3回出席。

町内の事業所と情報交換や課題を共有することができた。

- ・月に1回の奉仕活動を4/19、5/25、7/10、8/10、10/26、11/28、12/28、1/25、2/22、3/22の10回実施。

地域住民からも声をかけられることが増え、利用者も嬉しそうであった。

② 非常災害対策及び感染症対策を強化する為に事業継続計画に沿った訓練を行い、会議で見直しを実施するとともに、地域との連携を検討する。

- ・6月と10月の2回事業継続計画に沿った訓練を行った。
訓練では利用者との連絡手段の見直しや検討を中心に行った。
他、世話人とマニュアルの確認や利用者だけでの避難訓練を実施した。
- ・2ヶ月に1回の法人内障害者防災委員会に参加し、各事業所の課題や訓練方法等の検討を行い、GH内の防災会議で内容を検討し職員に周知した。
(防災委員会 年6回、防災会議 年12回実施)
- ・毎月のGH会議で感染症対策会議を実施した。(年12回)
GH内での感染症対策の見直しを行い、会議で上がった課題等を各事業所が集まる法人内障害者感染症対策委員会にて報告・検討をした。法人内障害者感染症対策委員会で上がった内容はGH内の感染症会議で職員に周知し感染症対策の徹底を行った。

③ 地域連携推進会議の開催に向けて検討し、令和7年度から実施できるようにする。

- ・施設見学や近隣施設からの情報収集を行い、令和7年度から実施できるように準備をした。

(4) 経営に関すること

① 日々の業務や会議で無駄な部分を省けるよう会議で傾向や対策を確認する。

- ・毎月のGH会議内で光熱費の確認をして、使い過ぎを防ぐことができた。
- ・夏や冬のエアコン使用時は効率よく換気できるよう利用者へアドバイスをした。
それにより、昨年度よりも電気や水道の使いすぎがなかった。

② 令和6年度障害福祉サービス報酬改定に伴い、報酬体系や加算等の要件を確実に確認し、安定した経営を目指す。

- ・報酬改定における研修会への参加や施設見学、近隣の施設との情報交換を通して漏れがないように申請を行った。
今まで区分がついていなかった利用者を見直しを行い、区分をつけることで多少の収入を増やすことができた。利用者自身も使えるサービスの選択肢が増えた。

2、その他

(1) 健康管理

- ・日常の定期通院などは個別に声掛けを行い、忘れずに通院できるようにした。
一人では受診が難しい利用者については必要に応じて、世話人が同行(有料サービス)をした。

- ・6月に仕事場で体調不良になり、そのまま緊急搬送をされる利用者がいた。カテーテルによる手術を行い、1ヶ月ほど入院をしたが病院や家族と連携をとりながら対応することで働けるまでに回復をした。

(2) 家族との関係

- ・必要に応じて家庭に連絡を実施した。
- ・感染症も落ち着いたところに泊まりの帰省について再開。家族の元に帰られる利用者もあり、喜んでいた。

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備 考
306号室 トイレ修理工事	23,100円	
301号室 トイレタンク調査工事	11,000円	
302号室 洗濯排水改修工事	49,500円	
計	83,600円	

(2) 物品購入

・器具備品

カラーコーン (@846×4)	3,384円
301・302号室 電気ケトル (@8,800×2)	17,600円
302号室 サーキュレーター	9,878円
302号室 洗濯機	53,130円

○ススミダス

1. 目標に対する取り組み

(1) 園児・保護者に関すること

- ① 子どもが安心して自立して行動できることを実感できるよう、子どもの個性、発達特性を尊重した活動を行う。また、保護者の方とともにお子さんの情報を共有し、それぞれの子どもに合ったかわり方を一緒に考え、実践する。
 - ・子ども一人ひとりのアセスメントを実施し、特性からその行動を考えることに取り組んだ。
 - ・保護者交流会を3回実施（7, 10, 2月）し、食事のこと、就学のこと、医療受診のことについて話し合う場を設けた。
- ② 実施した療育が適切であったかどうか、またその実践が子どもの育ちにどのようなにつながったのか振り返り、考察、反省を日誌（HUG）に記載する。また、関係職員で検討する機会を設け、PDCAサイクルを繰り返し、ススミダスが一体となって支援の質の向上を図る。
 - ・担当職員でサポート会議を実施し、行動の表れを特性から考える場を設けた。
- ③ 事業所自己評価を行い、インターネットで公表する。サービスの自己点検と改善に取り組む。
 - ・2月に保護者、職員で事業所評価を行った。保護者の回答率は児童発達支援が24%、放課後等デイが50%であり、回答率が低い状況だった。今後、多くの保護者から回答が得られるよう工夫する。
- ④ 保護者との連絡や出欠席管理等、負担を最小限にし、連絡帳アプリを利用したお便り配布を行う。
 - ・面談希望表、アレルギー献立表は紙媒体で配布を行った。
- ⑤ マネジメントカメラを活用し、療育の振り返りや、ヒヤリハットの検証など、スキルアップや全体のリスクマネジメントを図る。
 - ・子どもの所在不明、けが等の際、マネジメントカメラを活用した。

- ⑥ 現金での集金は行わず、キャッシュレス（エンペイ）導入し職員、保護者双方の負担軽減を図る。

・キャッシュレス決済の実施は保護者からも好評である。

(2) 人材の育成

- ① 法人の品質マニュアルを参考にし、マニュアルや手順書を順次作成していく。定期的に見直し、変更点や改善点は直近の会議にて職員に周知する。

・緊急時マニュアルを作成し、放送設備付近に常設、職員がいつでも確認できるようにした。

- ② 外部研修や web 研修に積極的に参加する。

・得た新たな情報、知識は、書面または会議にて関係職員に報告した。

(主な外部研修)

防火管理講習・事業者説明会（集団指導）・サービス管理責任者等更新研修・ファシリテーター養成研修・相談支援従事者初任者研修・医療的ケア児等コーディネーター養成研修

(主な内部研修)

虐待防止・身体拘束の廃止・感染症・業務継続計画・安全管理、評価者、規定・マニュアル等

- ③ 職員会議で虐待防止・権利擁護・身体拘束の廃止に関する研修を設ける。

・毎月、職員会議内で虐待防止・身体拘束の廃止に関する意見交換を行った。

・虐待に関する自己チェックリストを年 2 回実施し、自分の行動を振り返る場を持ち、意見交換を行った。

- ④ 新人、若手、中堅、ベテランと、それぞれの層やスキルにあった目標設定を徹底し、人材育成と並行し、ミスマッチによる離職防止を図る。

人材情報を一元的に管理したうえで、個々の成長支援を図る。

- ・職員それぞれの段階にあった目標設定するとともに、日常的に職員間でコミュニケーションを取り、職員のストレス、悩みの軽減に努めた。

⑤ 保護者への一斉連絡や施設の可視化に関しては、web サービスを活用し、無用の作成物等が発生しないよう努める。

- ・保護者への連絡は連絡帳アプリ（キッズリー、HUG）を活用した。

(3) 地域との連携

① ブログや Facebook、Instagram を使い、保護者のみでなく、外部への発信を積極的に行い、認知を獲得する。

- ・このはな保育園の Instagram にスミダスをタグ付けしてもらうことで外部から問い合わせが多くあった。

- ・8月に長泉町幼稚園・保育園・こども園の職員現場研修を計画し、47名の町職員が研修に参加した。

- ・長泉町内の児童発達支援事業所より職員の現場研修の依頼があり、受け入れした。

- ・10月29日～11月12日 沼津特別支援学校高等部2年生の職場実習の受け入れを行った。

- ・子どもが関係する機関と連携会議を随時開催し、関係機関、保護者、スミダスで情報や目的を共有することができた。

② 非常災害対策の強化

- ・地震、火災、風水害等の想定される非常災害に対する研修に取り組んだ。

- ・災害時にもサービス提供を継続するための体制を整えるため事業継続計画（BCP）の研修・訓練を実施、内容の見直しを図った。

- ・毎月避難訓練（地震・火災）を実施した。

- ・11月1日（金）消防通報訓練・保護者引渡し訓練・職員消火訓練

- ・令和7年1月24日 子どもがスミダスから一時所在不明になる事故があった。マニュアルにのっとり対応した。保護者に状況説明と謝罪を行い、今後の対策（目印になる衣類を着用、施錠の方法等）につ

いて説明した。長泉町役場福祉保険課に事故報告書を提出し、長泉町障がい者自立支援協議会・子育て支援部会で町内事業所と状況を共有した。

(4) 安定した経営

① 光熱水費の節約。

- ・子どもの体調や活動に支障がない範囲で光熱費の節約に努めた。

② 教材、教具、備品の使い方を吟味。

- ・購入の際は対象物品について複数の業者の価格を比較した。

③ 長泉町役場（福祉保険課・子ども未来課）と連携を取り、地域のニーズ、入退所数、入園希望者数などに関して随時情報を交換し、利用者数を維持する。

- ・11月19日（火）教育推進課、健康増進課職員と令和7年度利用調整会議を行った。

【令和6年度 利用児数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均数（人）
児童発達支援	延べ人数	550	586	560	568	503	456	593	539	486	477	448	458	6224	25.71
	実人数	38	41	41	43	42	41	44	43	42	44	47	47	513	
放課後等デイ	延べ人数	43	43	45	54	43	45	53	45	44	42	40	40	537	2.21
	実人数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	
保育所等訪問	延べ人数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	実人数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

④ 令和6年度報酬改定

- ・令和6年4月より報酬1単位の単価に変更があった。

（児童発達支援）10円（その他）→10.19円（7級地）

（放課後デイ）10円（その他）→10.18円（7級地）

（保育所等訪問）10円（その他）→10.19円（7級地）

- ・サービス提供時間の前後1時間の利用に対して延長支援加算を算定できるようになった。

- ・令和7年2月より管理栄養士が産休に入ったため、栄養士配置加算の取得なしとなった。

2、実施した主な行事

・身体測定、避難訓練は毎月実施した。

4月	特になし
5月	16日歯科検診
	17日～前期保護者面談（6/26まで）
	23日内科検診
	31日お弁当の日
6月	水遊び開始
7月	特になし
8月	14～16日お弁当の日
9月	水遊び終了
	18日～後期面談開始（10/31まで）
	26日お弁当の日
10月	特になし
11月	7日人形劇鑑賞
	14日内科検診
12月	25～27日お弁当の日
1月	6日お弁当の日
2月	年度末面談開始（3/14まで）
3月	7日お弁当の日
	28日卒園式
	31日休園日（新年度準備）

3. その他

①利用児の状況

【令和7年3月31日】

	児童発達 支援	放課後デイ	保育所等 訪問支援	ライフサポー ト	合計
長泉町	42	5	0	9	56
裾野市	3	1	0	0	4
三島市	1	0	0	0	1
函南町	1	0	0	0	1
合計	47	6	0	9	62

② 保護者（家庭）との連携）

- ・連絡帳アプリ（キッズリー、HUG）を用い、職員は活動内容、喫食状況、午睡、排泄等を入力、画像も添付し保護者に共有した。
- ・年3回（6, 9, 2月）、保護者面談を実施し、支援計画の内容を説明し、家庭の困りごとを伺う機会にした。
- ・面談は保護者の申し出により随時行った。

③ 給食

- ・見慣れたものは口にしやすいのではないかと推測し、献立を2週間サイクルにしたところ残食量が減った。
- ・アレルギー献立表のチェックを家庭とともにを行い、安全な給食提供を行うことができた。

4. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

遊戯室強化ガラス取替工事	113,300 円
厨房スチコン部品交換修理	31,900 円
	計 145,200 円

(2) 物品購入

ぱっと組み替えジムテnder	236,500 円
児童用 体操カラーマット、整理台	184,800 円
児童用 一人机・椅子 7組	183,260 円
液晶大型テレビ	118,470 円
日除けメッシュスクリーン 4張	101,200 円
大型テレビ用ディスプレイスタンド	77,660 円
集塵機マキタ VC1500	45,100 円
ブルーレイディスクプレーヤー	37,070 円
児童用 ウッドエアテーブル	56,500 円
	計 1,040,560 円